

平成29年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会

－ 第1回理事会〈総会〉議事録－

日時：平成29年6月16日（金）

午後1時30分～4時

会場：みなみのかぜ支援学校

I 開会行事

(1) 会長あいさつ みなみのかぜ支援学校 橋本 昭彦校長

お忙しい中、宮崎県の各地区からお集まりいただき有り難く思う。

いくつか、新しい情報をお伝えしたい。全特連、九特連につながる本研究部会であるが、全国の流れとしては全特連の在り方についての検討に入っている。通常の学級に在籍する特別支援教育が必要な子どもたちも増えてきており、通常の学級と特別支援学級と分けきれなくなっている現状がある。

新学習指導要領が改訂され、小学校、中学校の学習指導要領、特別支援学校の小学部中学部が告示された。小中学校の指導要領については、特別支援学級、通級指導共に、個別の指導計画、個別の教育支援計画を必ず作らなければならないと表記され、指導方法を工夫することや特別支援学校の自立活動を参考にするようにと書かれている。学びの連続性を考慮したり、実態の幅が広がったりする中で、中学部の段階が2段階に増える。その段階それぞれの目標ごとに内容が書かれている。また、特別支援学校小学部に外国語活動を設けることができる。知的障がいの特別支援学校の教育課程の目標が達成されている子どもには、小学校、中学校の内容をもってきても良いということになった。軽度の子どもに対応していくことの必要性が表れている。

この会がこのような情報等をお伝えする機会であるとも考え、今後このような内容に対応できるように、県にも様々な工夫ができるように伝えていきたいと考えている。

(2) 本日の日程、配付資料確認

- ・配付資料の確認

(3) 出席者自己紹介（名簿参照）

- ・会次第の2ページ目。上から順番に。

(4) 知的部会について（説明）西山 T より

P1.2

- ・会次第1ページ参照。

本会は、障がい種別教育研究部会の中の知的障がい部会である。

県特研連の事務局はみやざき中央支援学校にある。ブロック部会は地区ごとに割り当てである。障がい種別は障がい種別で分けられている。

部会の在り方が複雑なので、今後この会についても検討していきたいと考えてはいるが、今はこの形で進めていきたい。2ページの次の一覧表の中から、地区の理事として今回来ていただいている。

- ・2ページの図の説明。

理事が研究大会の実行委員も兼ねるということになる。ホームページもあるので「知的部会」と検索していただいでぜひ見てほしい。

II 総 会

(1) 平成28年度知的部会事業報告 P3.4

- ・会次第3ページ参照。上から順に。
- ・会次第4ページ参照。上から順に。

(2) 平成28年度知的部会会計報告 P5

- ・会次第5ページ参照。上から順に。

県特研連からいただいた2万円を九特連「宮崎大会」の積立金とする。

(3) 平成29年度知的部会事業計画(案) P6.7

- ・会次第6.7ページ参照。上から順に。

(4) 平成29年度知的部会会計予算(案) P8

- ・会次第8ページ参照。上から順に。

県特研連より7月の研究大会に向けて2万円加算されている。

九特連「宮崎大会」の準備金として50万円を積立金として回す。

→来年度含めての50万円か、または来年度は別の50万円か。また、今後も大会に備えて積み立てをしていくのか。

→今年と来年度分と合わせて50万をいただく。31年度以降の積み立てについては改めて正式にいければと考えている。

(補足) これまで大会の準備金がなかった。来年度まではこれまでの形で。今回のみ県特研連知的部会の方から50万円の準備金をいただき、その後は正式に準備金として会計を作っていく。(8.5万円)

→収入の部分での各クラス500円ずつ集めるとあるが、

→特別支援学校は知的障がい学級数×500円で集めている。小・中特研の方では、今年度は2万円いただいている。(九特連大会が近い)

- ・知的障がい教育研究部会 研究大会(案)参照。上から順に。

(5) 知的障がい教育研究部会規則 P9.10

- ・会次第9.10ページ参照。上から順に。

第十条→「別に定める」会次第1ページ目の(2)予算の一つ目の○に詳細が書いてある。

→昨年までは1万円だったが、今年から2万円に。・・・宮崎で全国大会や九州大会が近い時に1万円から2万円に。(H26年度の全国大会の時に決定)大会が終わった次の年からは1万円に戻る予定。が郵送費、会場代などに経費がかかっている現状があり、小中特研については今後検討していただくことを考えている(西山T)

(6) 九特連・全国連大会提案者等について P11

- ・会次第11ページ参照。上から順に。

名古屋の全国大会より九州は分科会発表が1本で結構ということなので、ローテーションに変更が生じる可能性がある。

(7) その他

- ・会費納入のお願い

学級数×500円の納入願いが同封とのこと。メ切りが8月31日まで。よろしくお願ひします。

- ・会費について

Ⅲ 第2回知的部会研究大会実行委員会

(1) 大会概要説明 (佐藤 T)

- ・(別紙資料あり) 日時、会場、日程、計画の説明。

大会参加の方を呼びかけていただきたい。今回、教材書籍広場を行い、教材説明も行う。昨年度までは、作品広場とし各地区にお願いして行っていたが課題もあり、今年度はこのような形で進めたい。

毎年、参加申し込みをされずに来られる方もいるので注意していただきたい。

- ・延岡地区→人権研修会と重なっているため、参加が少ないかもしれない。

(2) 大会予算について

- ・Ⅱ 総会の中で説明

(3) 係分担について

・特別支援学校理事は事前に伝えて進めてもらっている。各地区の理事の方には、快く引き受けていただければと思う。

(別紙): 小中学校の地区理事の先生方への説明。

小中学校理事については講座の司会記録をお願いする。

のちほど、詳細を説明する。

- ・会場設定の説明(中央支援:湯浅 T) 別紙参照

トイレは2階に1カ所だが、1階も使うことができる。場内の自動販売機でのペットボトル購入した方は、ゴミ箱も小さいため、各自持って帰ってもらいたい。

教材紹介でコンセントが必要な場合は図のCがコンセントなので、協力して使っていただきたい。

正面入って、石造りの階段をすぐ上って2階に入る道順で入ってもらいたい。うわばきは持参する必要は無い。

- ・教材書籍の説明(都城きりしま支援:児玉 T) 別紙参照

今年度、各地区の小中学校の作品を集めて展示は無くなった。

《校長先生より補足》

・昨年度までのみやざき中央支援学校ではキャパがせまい。申し込みしてない方が来られる。など会場校に負担がかかっていた。理事を通してしかこの会には来ることができないので、確実に連絡が来る形での参加の方をお願いしたい。作品展示の件では、撮影したいができない。などの課題もあり、昨年度の反省もあって、今年度の形となったのでご協力お願いしたい。

- ・お弁当係の説明(延岡しろやま支援:水野 T) 別紙参照

200名定員に対して120個の予定だが、参加者が決まってきたら業者とやりとりをしていきたい。一般参加者の方は受付で配布。スタッフについてはスタッフ控え室での配布を行いたいと考えている。教材の説明の先生には早めに配布した方が良くと考えている。集金も前日準備に来る方は前日にしたいと考えている。各学校のスタッフが分かっているならば、本日把握したい。当日の名簿をもらったのでそれでチェックしたい。

受付の先生からお弁当購入の旨を促してもらいたい。

(延岡地区) 中島茂喜→字が違う・・・

各自のパソコンを持ってきてもいいのか。ボイスレコーダーは？

各自のパソコンでも良い。ボイスレコーダーも持ってきてもらって良い。

(4) 前日準備について

・(佐藤 T より：別紙あり)

会場設営の詳細案については、当日会場での調整になると思う。

資料の帳合いが終わった後に、各係での最終確認を行いたい。時間は早めに終わると思われる。理事で来られない方は、必ず代理の方をお願いしたい。その旨をお伝えいただきたい。

(5) 係打ち合わせ (会 終了後)

全てが終了し次第、行いたい。当日のスケジュールを見ながら話し合いを進めていただきたい。

IV 平成 30 年度九特連「宮崎大会」大会実行委員会

・別紙 3 枚綴り資料説明：森本 T

(1) 平成 30 年度九州地区特別支援教育研究連盟研究大会 「宮崎大会 (第 1 次案内)」

・研究主題

・趣旨

高等学校の通級も始まることもあり、このような内容で書かせていただいた。

・期日、会場、主催、後援

・日程→26年度の全国大会で授業公開をしたこともあり、今回は授業公開は計画していない。

・記念講演→南雲明彦さん。南雲さんの紹介文。周りの方に宣伝もしていただきたい。

・分科会について、提案者については先ほど説明のあったローテーションに当てはめて決めている。司会者も提案者の同じ地区から出していただきたい。今年度、早い内に決めていただきたい。

・問い合わせ先

補足・・・参加費等は例年3000円で行ってるが、会場費等もかかるので3500円以上の参加費で行いたいと考えている。参加者300人を超える形で行いたい。参加者が少ないと4000円ほどなることもあると考えている。今年度から予定に入れてもらい、たくさんの方に参加していただきたい。講演会の内容等考えると、高校の教職員の参加もお願いしたい。保護者の方にも講演会だけでも参加していただこうかと考えている。

小野 T より→教科的な指導、総合的な学習の時間のどちらでもいいのか？→どちらでもよい。

水野 T →保護者にもということでもあれば、自閉症協会とかの組織等も利用できるのではないか。

保護者だけ講演会もとなると、教職員が講演会だけ参加した場合、参加費の方が心配になる。

延岡地区→いつ1次案内ができるのか。2月では厳しい。→小中学校校長会での呼びかけができるよう考えたい。

水野 T →期日が変わることはないのであれば早めの呼びかけが良いのでは。

(2) 実行委員会組織図 (柴下)

資料説明

(3) 事業計画 (西山 T)

資料説明

・実行委員会については、来年度は今年度と同じ回数で行っていきたい。夏の大会はないので、その時に実行委員会を開いて進めていきたい。また、11月2日の直前に実行委員会を行いたい。来年度、理事が替わることがあると思うが引き継ぎをしっかりとってもらいたい。ぜひ、来年度も同じ方がしていただけると助かる。大会スタッフは理事だけでは足りないので、支援学校の先生方にも頼むことがあるかと考えている。業務計画の方は今後詰めていきたいと思っている。

・各分科会のスタッフは全てその学校で出していただくわけではなくて、実行委員がそこに入るということである。

・組織図の割り振りであるが、発表をしていただく方が運営に入った方がいいということでも研修部から決めた。26年度は近い地区を同じ部に入れ進めたが、地区での話し合い等はなかったということだったので、今回、地区は考慮せずこのような形で決めた。

V 連絡事項

- ・九特連大会第1次案内、全特連大会第1次案内、全特連夏期セミナー案内配布（西内 T）

各地区の理事の先生が鏡文も一緒に各大会の案内、夏期セミナーの案内等を持ち帰っていただきたい。

7月の出張伺い等も入っているので、持ち帰っていただきたい。委員会に渡すのが難しい地区は西内 T まで伝えほしい。

- ・研究大会前日準備、大会当日 出張依頼文配布

VI 閉会行事

（1）副会長あいさつ（日南くろしお支援学校校長）

理事会に向けての準備ありがたく思う。全特連の大会が3年前、来年度が九特連大会と考えるとなかなかハードだなと思った。

学習指導要領の改訂もあるので7月の研究大会に向けて、それにもつながっていければいいと考える。

○会、終了後、各係の打ち合わせ。